

問 物価高騰により影響を受けている市民生活を支援する考えはあるか。

答 各種支援策等については、国の交付金等を活用し効果的に実施していく必要がある。東北市長会を通じ対策強化に関する要望を行っている。



十和田高校の跡地利用について

問 十和田高校跡地を利用した、短大や専門学校を誘致する考えはないか。

答 高校の利活用については、所有者である秋田県教育委員会の対応方針が示されていないため、現段階で市が利活用について検討する段階ではない。

鹿角の農業について

問 スマート農業普及促進に向けた来年度の取組みは。

答 自動操舵システムを搭載した農機用

に、RTK基地局を市役所屋上に整備し、半径20キロメートルの範囲に正確な位置情報データを送信する。

また、水位の自動調整や、スマートフォンでの遠隔操作により取水口の開閉や水位の確認ができる水管理システムの導入を支援する。

問 昨年の豪雨で被災した農地や農業用施設の復旧状況は。

答 被災規模が大きく復旧に時間を要する箇所については、仮設水路の敷設などにより対応する。

被災が小規模なものでも復旧が完了していない農地については、引き続き復旧のための支援を継続する。

質問した項目

- 鹿角の農業について
- 児童クラブについて
- 十和田高校の跡地利用について
- 物価高騰への対応について



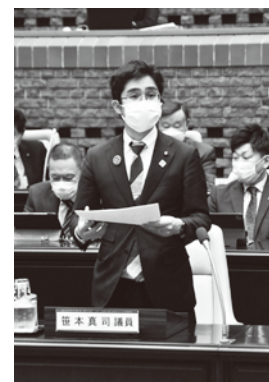
録画配信はこちらから

湯瀬 誠喜 議員（鹿山会）

質問時間 30分

問 中学生の部活動加入の原則を撤廃し、柔軟な運用が望ましいと考えるが教育委員会の考えは。

答 来年度から部活動加入を「推奨」から「任意加入」とし、学校部活動、地域クラブ活動、その他興味のある活動を生徒が主体的に選択する。



3歳以上の保育園児等への主食提供について

問 昨年9月定例会で質問後の検討状況と見通しはどうか。

答 県内各市の状況調査や主食提供施設の視察などを行い検討した。来年度も引き続き家庭から主食を持参したくが、保護者からのニーズや保育現場などの意見を伺い、検証を重ねながら、総合的に判断していく。

たんぼこまち号のバス停新設について

問 昨年提案した、新クリニック開設に

合わせた運行ルートの変更及びバス停新設についての動きは。

答 関係機関との協議が整い、委託先バス事業者と準備を進めている。新設するバス停を経由するルートに変更となり、4月上旬の運行開始を予定している。

市職員の兼業について

問 地方公務員法で認められる市職員の兼業状況と、制度整備について市の考えは。

答 市の基準を満たす場合は兼業を認められており、今年度は消防団活動など述べ58人に営利企業等への従事を許可している。引き続き職員が地域で積極的に活動できるよう周知していく。



録画配信はこちらから